

# 筋ジストロフィー患者の 皮膚ケア



---

国立病院機構 熊本再春医療センター  
皮膚・排泄ケア認定看護師  
勝木 信敬

# 熊本再春医療センター



熊本市の北部近郊に位置。熊本市のベッドタウンとして開発が進められている地域です。



- 熊本県北部地域における中核病院（地域支援病院）
- 政策医療（重心・筋ジス・神経難病等の病床を有する）
- 熊本県神経難病医療ネットワークの拠点病院としての役割
- ALSセンター設立（平成21年10月～）

# 皮膚・排泄ケア認定看護師について

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。



## W (Wound : 創傷)

褥瘡を始めとした  
各種創傷 瘻孔管理  
皮膚トラブル等

## O (Ostomy : オストミー)

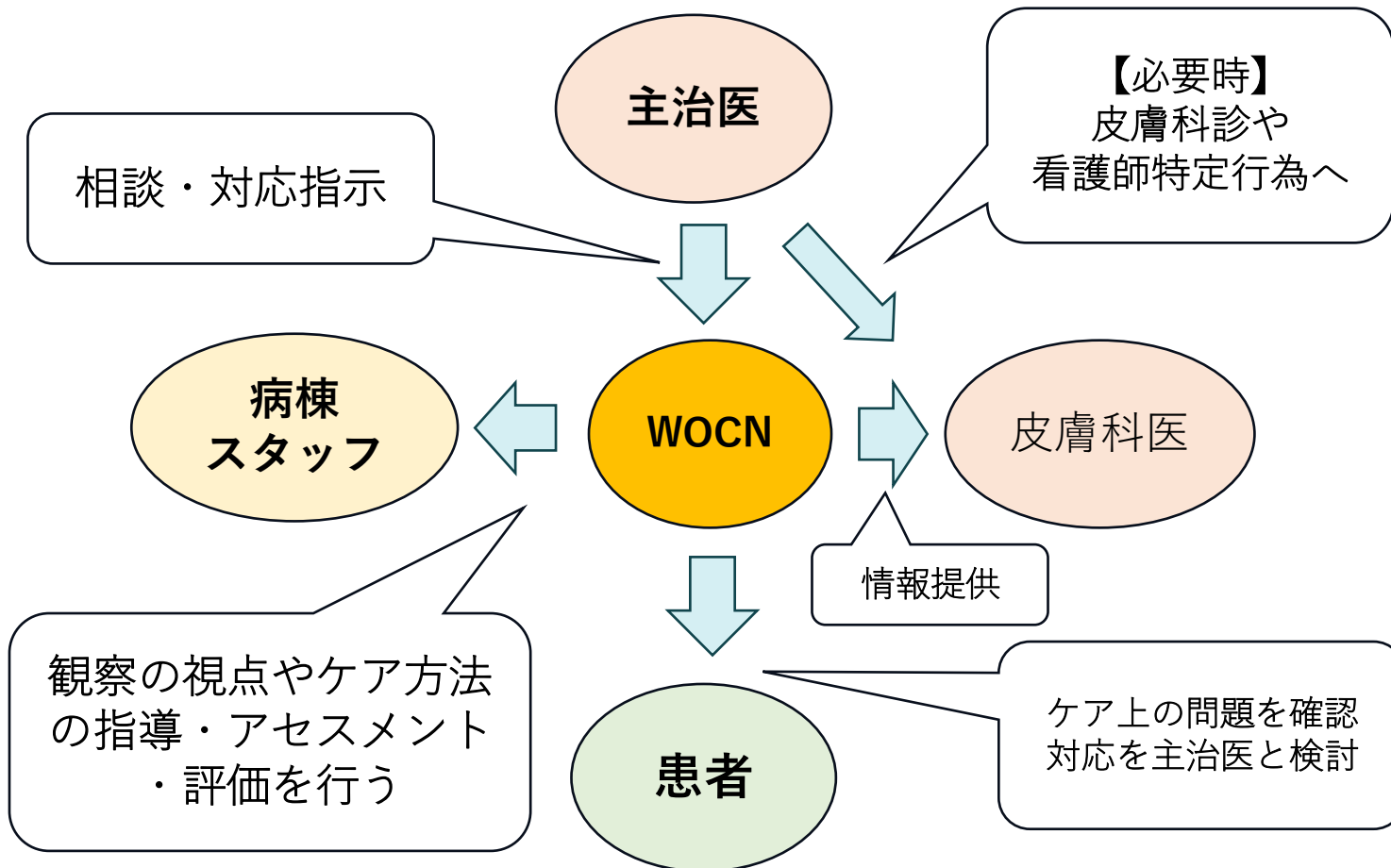
人工肛門患者への  
術前からの退院後の  
生活に向けたセルフ  
ケア支援

## C (Continance : 失禁)

排尿困難や便秘・下痢  
への相談対応  
おむつ皮膚炎などへの  
対応

日常の看護ケアに深くかかわっています

平成30年より皮膚・排泄ケア専従として活動中



- ・常勤の皮膚科医が不在
- ・主治医や病棟スタッフより皮膚トラブルに関する相談がWOCNへ
- ・皮膚科医来院迄の対応について主治医と検討
- ・皮膚科診察後のケア方法のフォローも行う
- ・必要に応じて栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士と連携
- ・多職種連携を進める上でチームの核となる認定看護師と積極的に情報共有を行う

# 筋ジストロフィー患者での特徴的な褥瘡①

## 股関節外転による皮膚過伸展

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

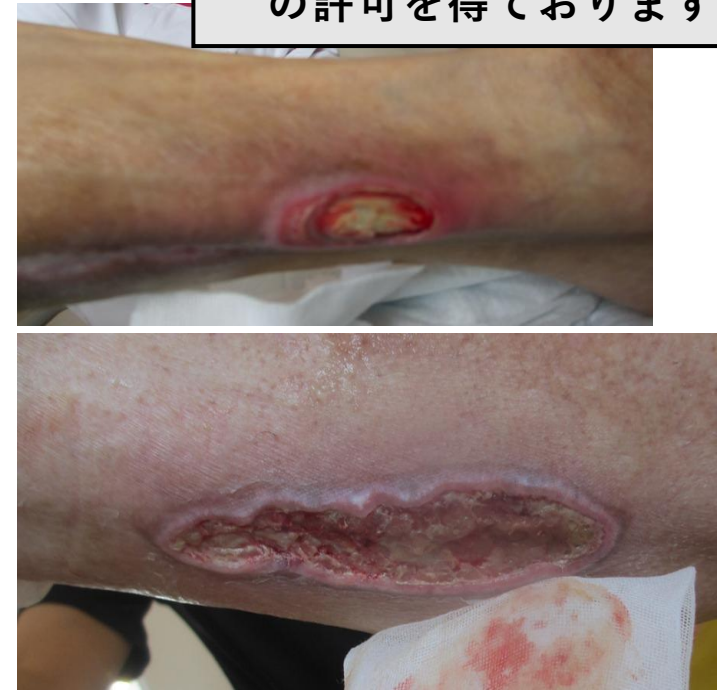


普段の姿勢  
常時股関節外転の状態



ここだけ浮かせても  
治らない

腓骨骨頭や腓腹部への潰瘍を形成



足関節部分が支点、下肢の重さが力点⇒腓骨部や腓腹部の皮膚に裂けるような力が働く

# 股関節外転での褥瘡への対応

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- ・ 褥瘡部だけを支持・浮かすようにしても除圧にならない。
- ・ 下肢全体（股関節～大腿部～足先まで）を支持できるようにクッションを挿入。
- ・ 緊張での拘縮が強い場合、支持できると徐々に膝関節が伸展できるようになる。
- ・ （仰臥位で）膝が天井側を向くことができるように調整。



理想は膝が天井側を向くように調整



股関節～足関節まで支持

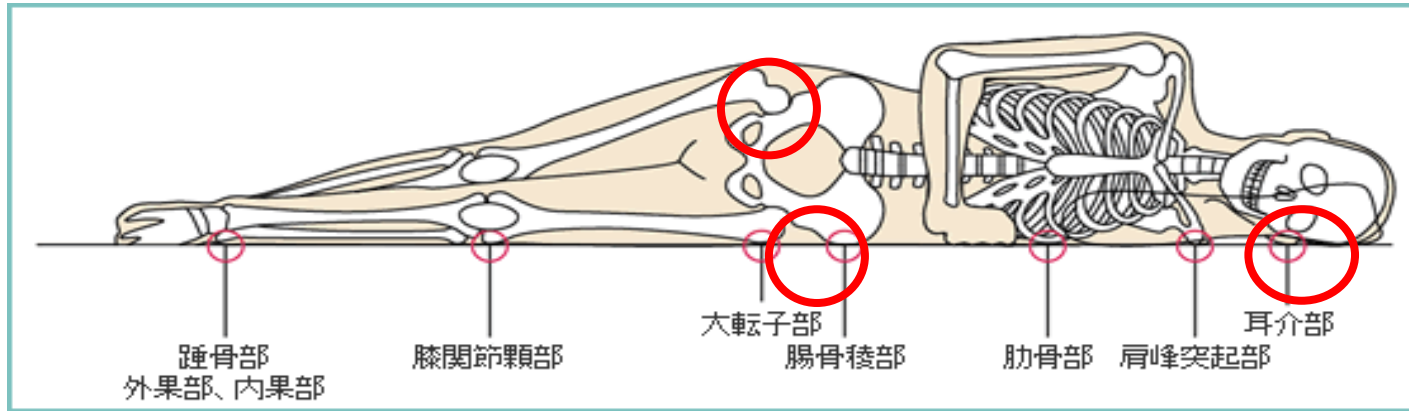


＋足底部分を支持できるように調整

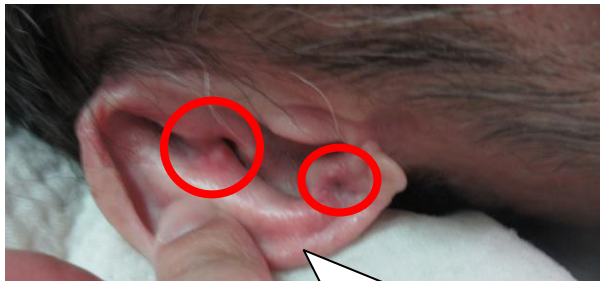
# 耳介部への圧迫

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- 変形の進行＋テレビなどを見る向きにより常時片方（時に両側）の耳介部が圧迫・摩擦される



腰部や下肢の隙間を埋める  
（体圧分散）

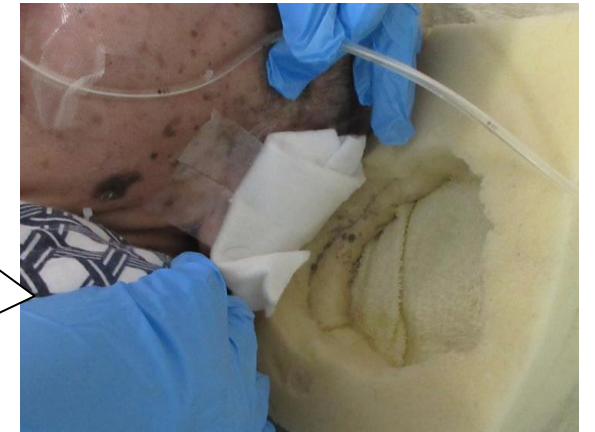


耳介が折りたたまれた状態での圧迫



摩擦による剥離

局所用のスポンジでの圧迫・摩擦対策



# 皮膚の密着問題

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- 変形拘縮やデバイス使用に伴う皮膚同士の密着や摩擦、皮膚汚染>保清の間隔による皮膚トラブル



**耳介部裏**  
清拭回数増加と撥水  
ガーゼによる通気



**耳の浸軟**  
保清+通気。改善乏しい時は適宜浸出液を吸収する軟膏膏+ガーゼ、または抗真菌薬・潰瘍治療薬も使用



**頸部の密着**  
保清回数増加  
普段の姿勢に応じた通気  
密着部にガーゼを挟む+適宜パウダーを使用。



**背部の密着**  
保清回数増加+少しでも通気時間を確保  
通気性の良い衣服・シーツ・マットレスなどを検討

# 気管支瘻周囲の皮膚トラブル

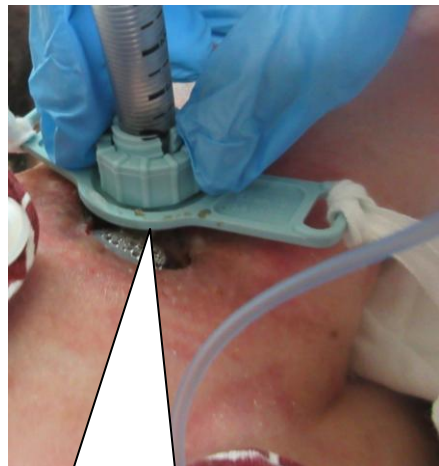
画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- ・ カニューレによる圧迫による潰瘍、摩擦による肉芽形成、気道分泌物等による汚染での皮膚炎など



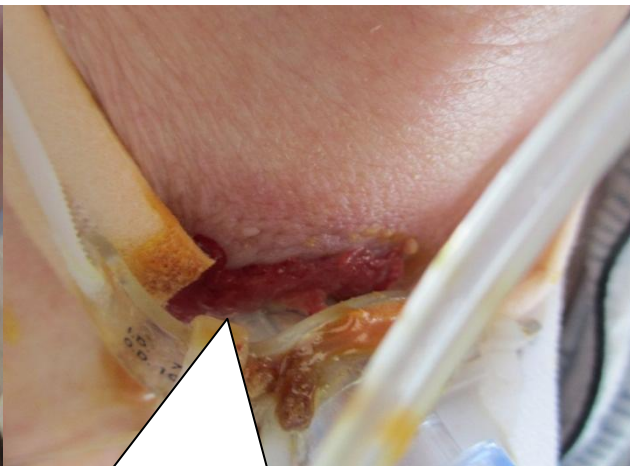
## 【潰瘍形成】

頭が前屈気味or首の長さに関連。カニューレの向きを調整。抗菌性+浸出液吸収軟膏で処置。厚みのある被覆材併用することも。



## 【瘻孔拡大】

カニューレの向きを調整（回路や呼吸器の位置も検討必要）。カフ見えすることも。



## 【肉芽形成】

・ 頭部の動きによる摩擦等が関連。スポンジなどを挟むことも。肉芽は感染兆候あれば抗菌性軟膏。無ければステロイド軟膏使用。



## 【皮膚炎】

・ 気道分泌物による汚染が関連。保清+ワセリンなどでの撥水。短期間のステロイド外用も検討。

# 気管支瘻周囲皮膚のトラブル

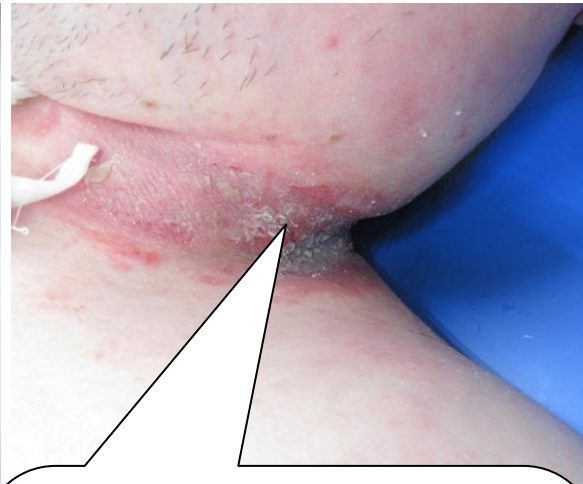
画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- ・気管支瘻固定に関わる部分の皮膚トラブル。ソフトネックホルダーやささえフランジに関する部位が関連



## 【ソフトネックホルダーでの潰瘍】

皮膚を挟んだ状態での固定が要因。抗菌性軟膏で処置。ガーゼを皮膚密着部に沿わせるよう固定する。



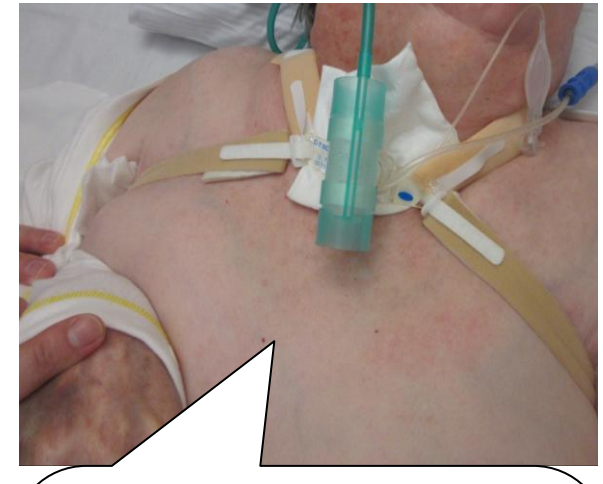
## 【皮膚の蒸れ】

皮膚密着や発汗/流涎などが要因。保清+プロペト+ガーゼを皮膚密着部に沿わせるようにする。流涎対策も必要。



## 【皮膚炎】

肩と首の皮膚密着もあり。発汗/流涎なども要因。保清+（必要時）抗真菌薬や浸出液吸収軟膏+ガーゼを使用。流涎対策も。




## 【ささえフランジ】

カニューレの安定性。固定部分（両肩や腋）の摩擦による潰瘍に注意。ソフトガーゼなどを挟む


# 胃瘻部のケア

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- 入浴日以外は綿棒清拭
- 清潔 + こよりを使用して除圧。
- 肉芽への処置：感染兆候に応じて抗菌性 + **浸出液吸収する軟膏**を塗布。
- 感染兆候（赤みや熱感・腫れた感じ）が無ければステロイド軟膏を検討。
- 寝たきり + 円背の患者では座位姿勢の調整も必要



チューブの動揺による  
皮膚との摩擦  
⇒ 発赤・肉芽



外部ストッパーによる  
圧迫潰瘍



# スキンテア

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

最も相談件数が多い。背景要因としては

- ・ ADL全介助
- ・ (療養生活上) ベッド上に様々な物品 (医療機器含め) がある
- ・ 変形拘縮が進行
- ・ 栄養状態の低下
- ・ 脆弱な皮膚状態
- ・ 保清が不足することも多い etc . . .



介助時の摩擦



摩擦 + 圧迫



拘縮で摩擦しやすい

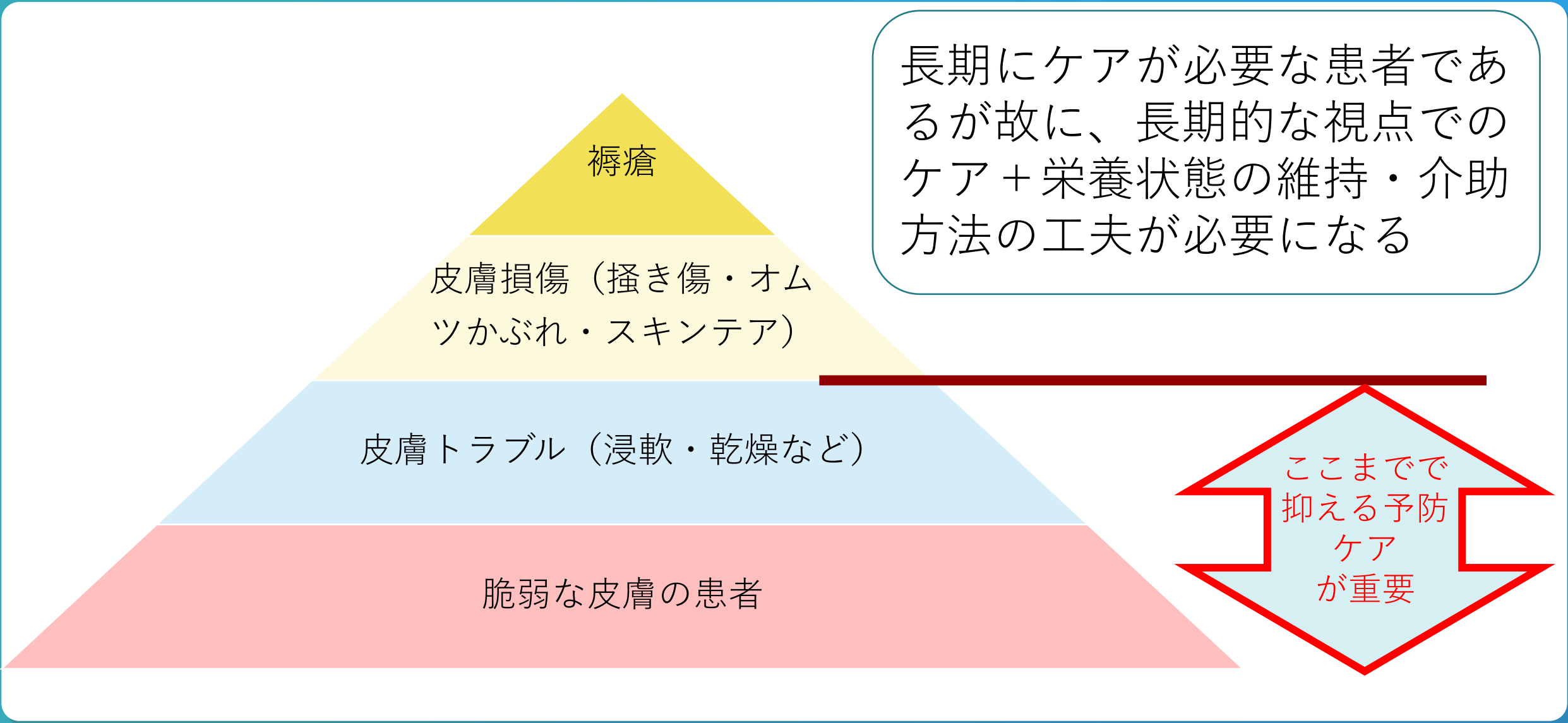


ソフトネックホルダー



- ・ 予防ケアの基本は「清潔・保湿・保護」
- ・ 介助方法では「皮膚を引きずらない」ノーリフトケアを推奨

# 予防ケアの考え方



# オムツ皮膚炎への対応

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

- 筋ジストロフィーの患者さんで「オムツかぶれ」では、頻回な泥状～水様便を繰り返すケースが多い。皮膚炎への対応としては尿や便が皮膚に付着しないよう「しっかり」軟膏で保護することが重要。ただ、水様便が出る「要因」を把握しておくことが重要。



カンジダ様症状



浸軟（褥瘡リスク増）



軟膏塗布量不足



必要な軟膏塗布量

# 水様便が持続する場合の対応

画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

1. 過剰な便秘薬の投与がないかの確認
  - 1) 刺激性便秘薬の連日投与
  - 2) 緩下剤の適応を検討（有形便を目指す）
  - 3) 排便量・性状・腹鳴・腹部膨満などのアセスメント
2. 栄養剤使用時は注入速度の調整
3. 栄養剤の検討（栄養士等への相談）



軟膏での保護ケアと並行して実施する



# オムツ皮膚炎（+真菌症）での軟膏処置



抗真菌薬  
オムツ範囲  
全体に塗布



画像掲載にあたっては患者さんの許可を得ております。

びらん部へ排泄物を付着させないことが大事

- ①洗淨後水気をしっかり拭取る
- ②発赤発疹部だけでなくオムツ装着範囲（陰部や股など）に抗真菌軟膏を塗布
- ③排泄物が付かないように保護軟膏（亜鉛華軟膏など）を塗布

- \* 皮膚が剥離し、軟膏が付着しない場合。
- ①抗真菌軟膏を塗布
  - ②バリケアパウダー散布（余分な粉落とす）  
排泄物が付かないように保護軟膏（亜鉛華軟膏など）を塗布  
⇒排泄時に軟膏が落ちていたら塗りなおす
- \* その都度洗淨しない

# 筋ジストロフィー患者の皮膚ケア まとめ

- 筋ジストロフィー患者にとって褥瘡をはじめとした皮膚トラブルが発生する状況は、日常生活を含めた複合的な問題点を示唆する（疾患の進行・栄養状態・生活状況などすべて）。
- 皮膚ケアでは清潔・保湿・保護の基本的なケア＋患者の状態に合ったケアが必要になる（軟膏塗布だけでは解決しない事も多い）。



- 病態・日常生活状況・その人らしさを考慮した予防ケア方法を家族・多職種・介護者で検討・共有することが重要

ご清聴ありがとうございました。